

母校宮前小学校の90周年を祝して



90周年実行委員長 齋藤文夫
卒業生代表

母校宮前小学校が創立90周年を迎え、在校生はじめご関係皆様と喜びを共に出来ますことを、大変嬉しく存じます。

特に50周年以来、周年の実行委員長を務める光栄に浴し、卒業生としてこの上ない喜びであります。

大正10年、現在の市役所の処にありました川崎小学校が、町制の進展に伴い現在の日進町に移転し、その分校として宮前町に私達の小学校が誕生しました。そして川崎の総鎮守稲毛神社の正面に位置していた所から、宮前小学校と付けられました。

最初の木造校舎は、大正12年の関東大震災により、講堂や校舎が倒壊するなどの被害を被りましたが、その後川崎市政の躍進を表徴するが如く、川崎を代表する小学校として注目され、昭和13年には市内初の鉄筋3階建校舎が完成しました。

私は5年生の時に、2階の新教室に入りましたが、屋上から見た富士の美しい姿は、今でも忘れられません。

昭和20年4月15日、アメリカの川崎大空襲で、現在の川崎区や幸区が灰燼に帰しましたが、宮前小学校の鉄筋校舎は、猛火に耐えて焼け残りました。母校の焼け残った姿は、私達に大きな勇気を与えてくれました。時移り21世紀を担う現代の小学校教育は、大きく変わり更に進化し続けています。

宮前の生徒達も、学校でうけた教育を土台に個性を伸ばし、明日の川崎や日本いや世界や人類のために、きっと多方面で立派に活躍してくれることでしょう。

今回の90周年事業では、母校の歩みや郷土の歴史を副読本で学び、行き届いた教育環境の中で、生涯の思い出に残る教育の場となるよう、私達先輩や関係者が心を込めて、宮前の後輩達に送るプレゼントであります。

白川校長先生・清水PTA会長・金長教育後援会長を中心に、卒業生・ご父母・後援会皆様の総力を結集して、生徒達のために宮前小学校90周年事業を、立派に成功させようではありませんか。

ご関係皆様から寄せられた多大なご努力ご協力に、心から感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

牽寿を迎えた宮前小



学校長 白川 勝幸

宮前小学校は大正10年(1921年)2月17日に、神奈川県橋本郡尋常川崎宮前小学校として誕生しました。誕生して2年後には関東大震災に見舞われ、校舎が倒壊してしまいました。また、戦時中には川崎大空襲により、校舎の一部が消失してしまいました。子どもたちは、集団疎開も経験したようです。しかしその度に地域の方々のお力により再建が果たされ、すばらしい伝統を築いてきました。そして平成元年には、川崎市で初めてのオープンスクールとして改築がなされ、今日に至っております。

この間、その時代時代の地域の方々、PTAの方々、教職員のご協力、ご支援により幾多の困難を乗り越えて、子どもたちの教育に力を注いで参りました。「正しく、楽しく、たくましく」を教育目標に掲げ、また、めざす学校像として「花がいっぱい、笑顔がいっぱい、活がいっぱい」として日々取り組んでまいりました。新学習指導要領が出され、現在移行段階にあります。それを受け、川崎教育プランの見直しも現在行われています。それらの精神を活かしつつ、宮前小学校では、地域の方々のご協力を頂きながら、そして、専門家の出前授業等を多く取り入れるなど、特長有る教育を展開してきております。最近では平成20年まで続けてきました体育の研究で、その成果が認められ、全国学校体育連合会より最優秀賞を頂き、文部科学省より賞状を頂くことができました。

これらの輝かしい歴史を前提に、90周年を迎えるにあたり、子どもたちから公募しましたスローガンが「未来へはばたけ、笑顔かがやく宮前小」です。

歴史ある宮前小で、その歴史の重みを感じながら、未来に向け、明るい宮前小にしていきたいという子どもたちの切なる気持ちが、このスローガンに込められていると思います。これは、まさに宮前小学校のめざす学校像と精神を同じにしたものと思います。私たち職員も子どもたち同様、気持ちも新たに未来へ輝く宮前小にすべく日々努力して参りたいと思います。

終わりになりますが、創立90周年記念式典並びに記念事業推進にあたり、記念事業実行委員会、教育後援会、PTA、地域の方々にたくさんのご協力ご支援を頂いたことに感謝申し上げます。また、本誌に原稿をお寄せ下さった方々に厚くお礼申し上げます。

創立90周年によせて

PTA会長 清水 宏明



創立90周年に際し保護者の代表としてお祝いを申し上げます。

この輝かしい記念日を迎えるに当たり、歴史を築き上げられた先駆者の方々に深い感謝の気持ちを捧げると共に、90年という歩みの中では様々な課題を抱え多くのご苦労やご努力があった事と察します。その中で宮前小学校が時代の要請に応えながら、創造性と個性に溢れ、心身ともに健やかな児童の育成に取り組まれてきた事は一重に献身的に携わった歴代校長先生を始め、教職員の皆様の熱意ある教育姿勢と、地域の皆様の温かいご支援の賜物であると、あらためて感謝申し上げる次第です。

いつの時代も子どもは親の背中を見て育っていきます。私たち保護者は90周年を節目に、自らの発言や行動を律し、PTA活動の内容充実に努め心新たに前進して参りたいと決意しております。

宮前小学校の益々の発展の為、皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

すばらしい学校、 宮前小学校90周年をお祝して

教育後援会会長 金長 敏夫



長い歴史と伝統のなかにも新しきがあり、みんなで心を合わせて更に新しい伝統を作ってきた、宮前小学校の創立90周年を迎え心よりお祝い申し上げます。

大正10年に川崎小学校より分かれて以来歴代の校長先生、先生、PTA、教育後援会、そして地域の方々のご協力、ご支援によってこのすばらしい宮前小学校が築かれて参りました。

現在、川崎区では生徒数が一番多い学校となり、2009年度は体育の部で文部科学大臣賞を頂くなど長年に渡り数多くの賞を受賞している、川崎を代表する学校であります。教育後援会といたしましても、数多くの施設設備や備品を提供して参りましたが、これからも社会生活の変化に対応しながらこの素晴らしい学校を先生、家庭と地域のみならず共に意思疎通を深め協力し合いながら、宮前小学校の子供たちが、安全、安心に学校生活を送れるように支援して参りたいと思います。そして、更に100周年に向けて発展をしていくことを祈念いたしまして、お祝の挨拶とさせていただきます。

われらが宮前 輝くまなびや

近藤 真市



創立90周年、心よりお祝い申し上げます。

私は平成8年4月、教頭として宮前小学校の子ども達と出会い、そして翌年の平成9年から4年間校長として在職しました。在任中は、創立80周年等大勢の方々にご協力いただきました。感謝申し上げます。

校長としての初めての学校だよりに次のようなことを書きました。「～略～ 4月5日、新しい出会いが生まれました。1年生は129名で4クラスです。

全校児童は705名で22クラスで、職員は37名です。学校中が希望に満ちあふれている雰囲気の中で平成9年度がスタートしました。……」

われらが宮前っ子を育てるために取り組んでこられた職員やPTA、教育後援会の皆様の努力は、今、根を張り、花を咲かせ実を結んでいると思います。今後も、さらに輝くまなびやであることを願っています。

基礎基本に徹した3年間

菊地 恒雄



創立90周年おめでとうございます。多くの方がたのご支援によりここまでたどり付くことができました。ありがとうございます。

さて、私は宮前小学校に赴任していろいろな角度から経営の方策を考えてみました。常に新しい教育の課題に向き合い、子どもたちの意欲関心を喚起していました。総合的学習がさかんに行われ、地域の方がたを講師に招いて授業を公開していました。しかし、そこには自分のことばで表現することに十分ではありませんでした。資料の丸暗記、調査したことの羅列で、

これでは総合的学習の自ら学ぶ基礎基本が生かされていません。スピーチ活動や司会者、質問者として自分のことばで訴えている姿を褒めて、みんなに紹介してきました。学年担当の朝会に子どもを登壇させ、自分たちの活動を報告させました。始業式・終業式等の目標の設定と努力の結果報告では発言者に対してたくさん拍手を受けたこと今でも思い出します。

宮前プランの実践

澤口 安雄



創立90周年、おめでとうございます。

私は平成16年度に着任しました。当時は国も市も教育改革の真っ只中で、「開かれた学校と特色ある学校づくり」をめざして、伝統を引き継ぎながら新たな課題に対応できるように、「宮前プラン」を作成し、保護者・地域・教育後援会の力をお借りして教職員全員で取り組みました。

学校は、子どもが主役です。宮前子ども会議では、「笑顔がいっぱい、花いっぱい、活気がいっぱい」の学校にするために自分たちで考え、抜擢隊の募集や花栽培のコンクールやフラッグフット大会の開催などを実施しました。特別支援教育や国際理解教育の充実も進める中で、民話を聞く会や体育授業における特別非常勤講師など様々な分野の方々にご協力いただき感謝しております。

今年で卒業を迎えた宮前小が、今後もますます発展するよう願っております。